

証券コード:6915

 千代田インテグレ株式会社

2014年8月期 通期決算説明会

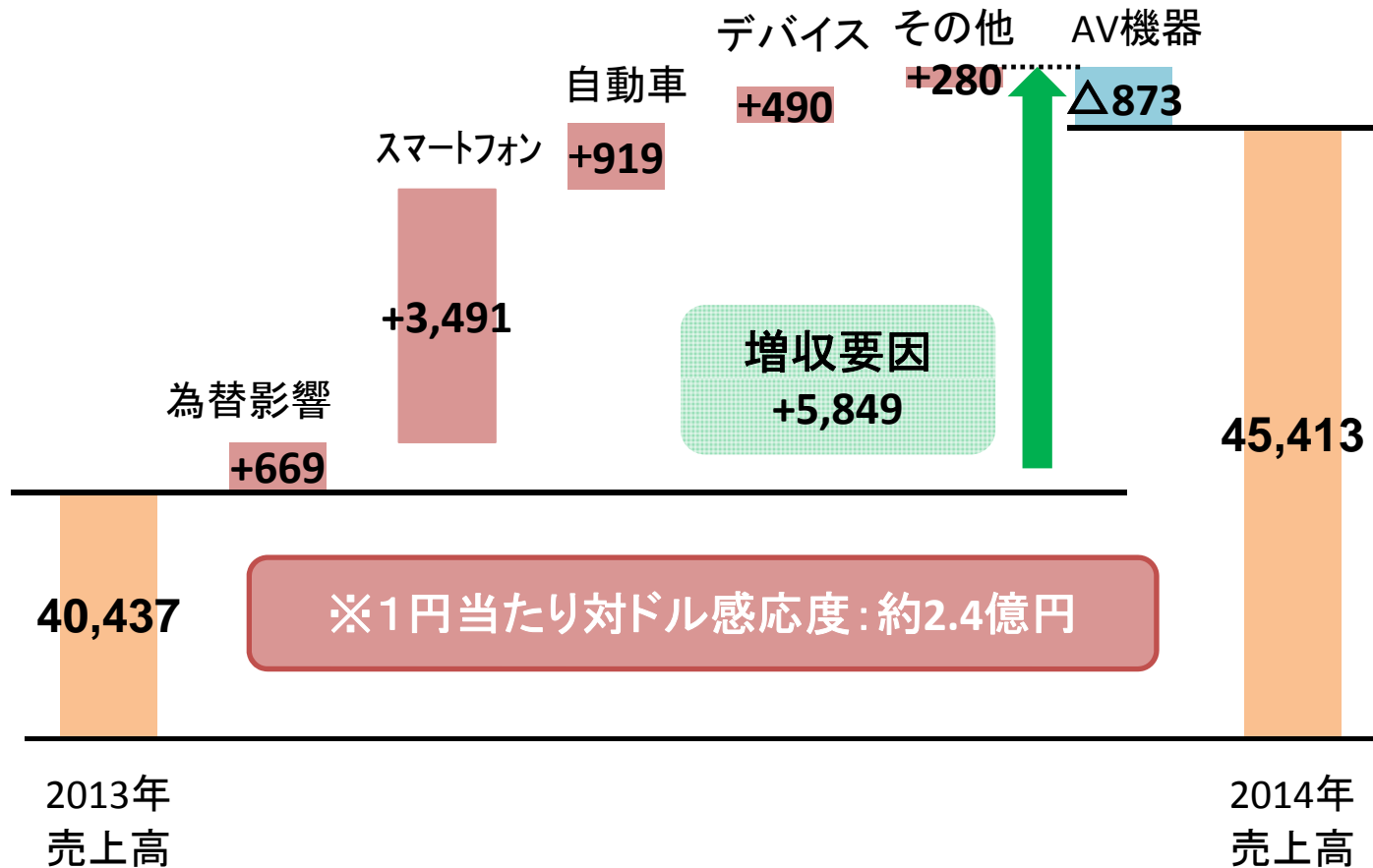
2014.10.16

2014年8月期 連結業績の内容

(単位:百万円)	2013年	2014年	増減額	増減率	
売上高	40,437	45,413	4,976	12.3%	売上高: 上半期はスマートフォン向けが牽引し、下半期は東南アジアで受注が拡大しました。
売上総利益	8,409	9,742	1,333	15.9%	
(構成比)	(20.8%)	(21.5%)			営業利益: 売上高および売上総利益率の向上、販管費の抑制により増益となりました。
営業利益	2,403	3,574	1,171	48.7%	
(構成比)	(5.9%)	(7.9%)			経常利益: 為替差益が発生しましたが、昨年に比べ増益幅は縮小しました。
経常利益	2,895	3,813	918	31.7%	
(構成比)	(7.2%)	(8.4%)			
決算レート(US\$)	98.59円	101.36円			

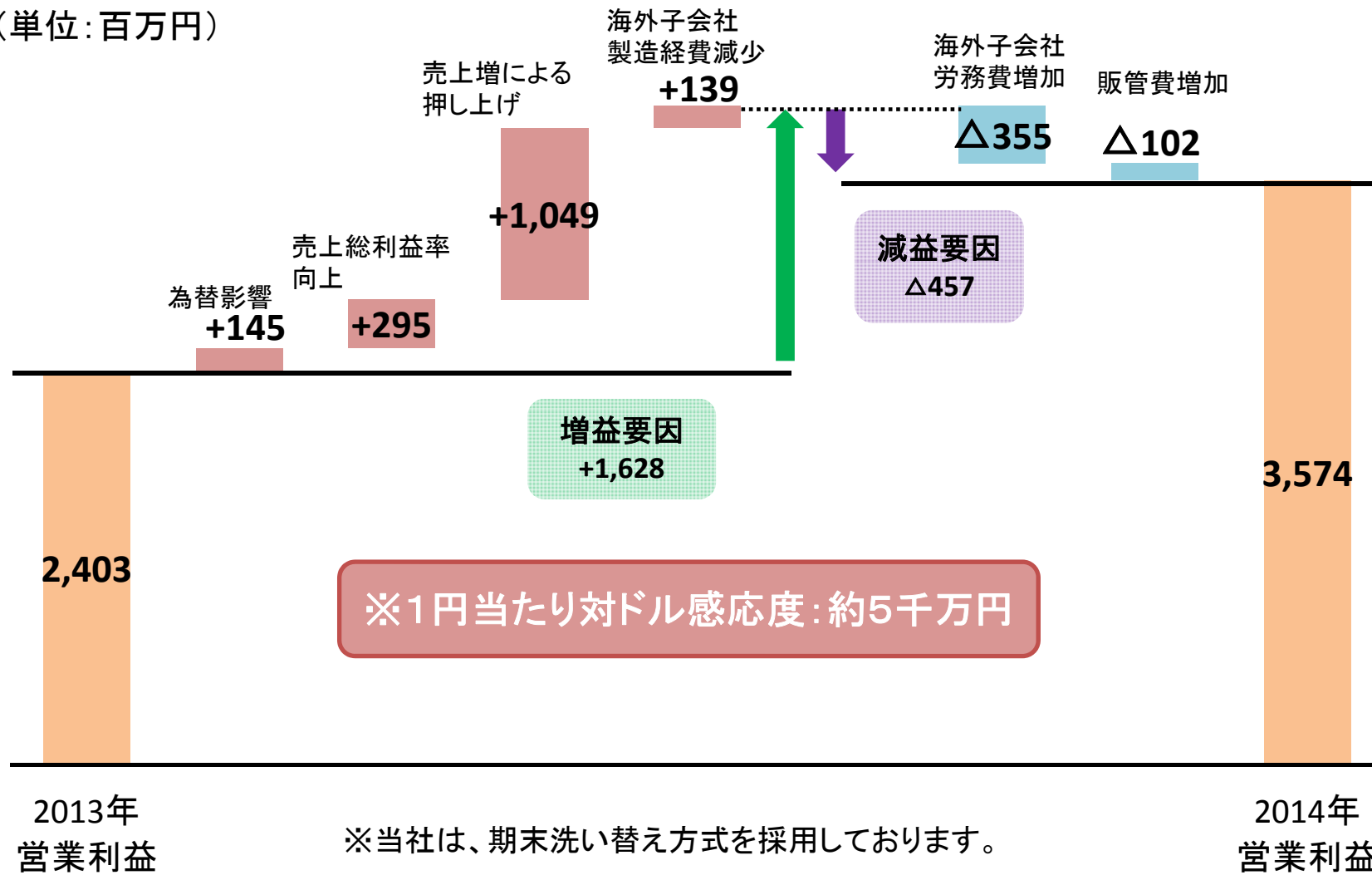
売上高の増減要因

(単位:百万円)



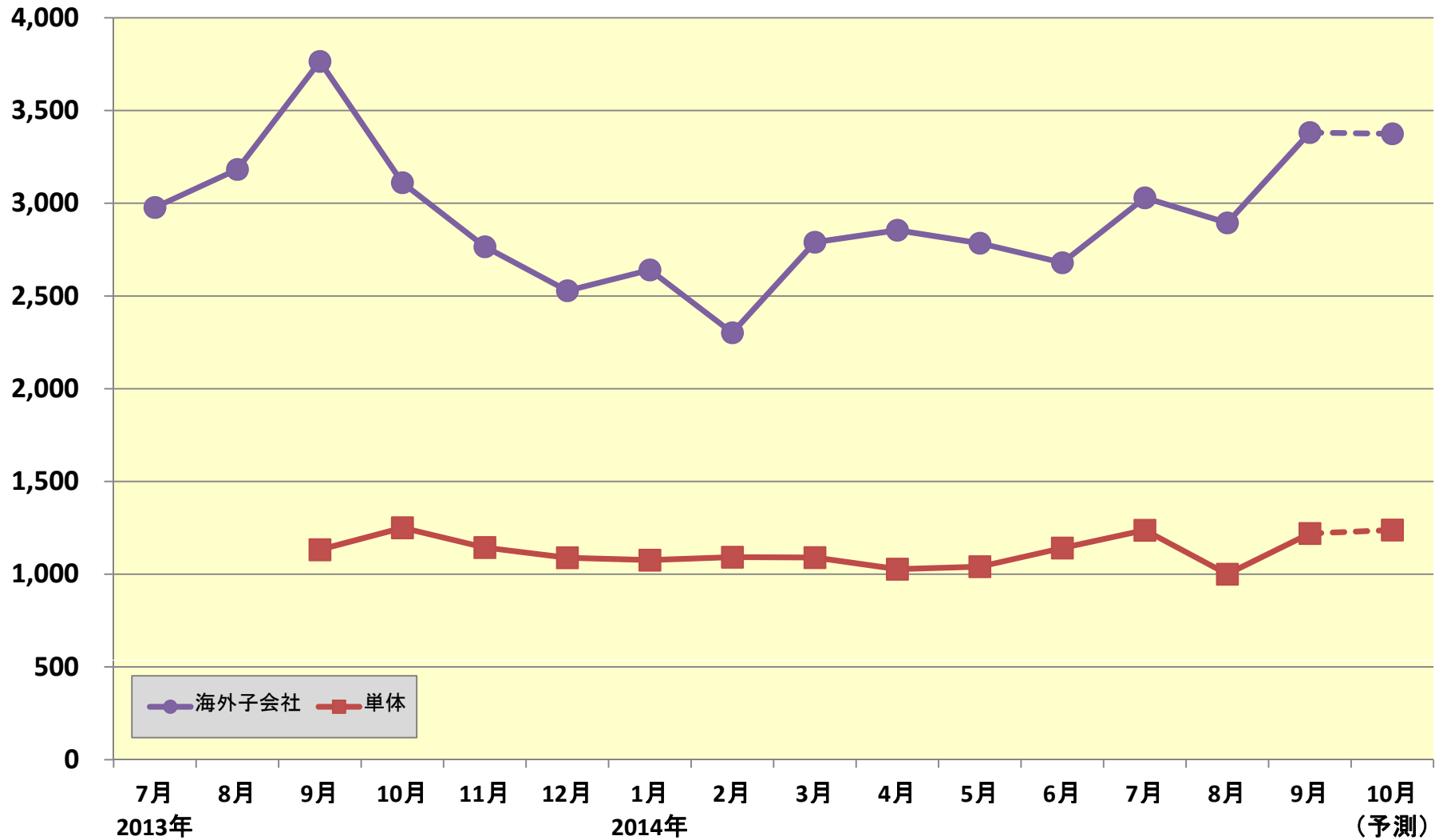
営業利益の増減要因

(単位:百万円)



単体・海外子会社の月次売上高の傾向

(単位:百万円)



2014年8月期 単体の業績

(単位:百万円)	2013年	2014年	増減額	増減率
売上高	13,642	13,318	△324	△2.4%
売上総利益	2,650	2,573	△77	△2.9%
(構成比)	(19.4%)	(19.3%)		
営業利益	△257	△192	65	—%
(構成比)	(—%)	(—%)		
経常利益	1,620	1,347	△273	△16.9%
(構成比)	(11.9%)	(10.1%)		

所在地別セグメント情報(日本)

(単位:百万円)	2013年	2014年	増減額	増減率
外部顧客売上高	11,501	10,932	△569	△4.9%
セグメント間の 内部売上高	3,058	3,301	243	7.9%
計	14,559	14,233	△326	△2.2%
営業利益	△248	△172	76	-%
(営業利益率)	(-%)	(-%)		

(注) 日本地域には国内子会社1社が含まれています。

OA機器・テレビ向けの需要減が影響しました

所在地別セグメント情報(東南アジア)

(単位:百万円)	2013年	2014年	増減額	増減率
外部顧客売上高	9,252	10,693	1,441	15.6%
セグメント間の 内部売上高	124	207	83	66.9%
計	9,376	10,901	1,525	16.3%
営業利益	116	708	592	510.3%
(営業利益率)	(1.3%)	(6.6%)		

テレビ・スマートフォン向けの受注が堅調に推移しました

所在地別セグメント情報(中国)

(単位:百万円)	2013年	2014年	増減額	増減率
外部顧客売上高	17,715	22,278	4,563	25.8%
セグメント間の 内部売上高	976	916	△60	△6.1%
計	18,692	23,194	4,502	24.1%
営業利益	1,420	1,946	526	37.0%
(営業利益率)	(8.0%)	(8.7%)		

スマートフォン向けの受注が好調に推移しました

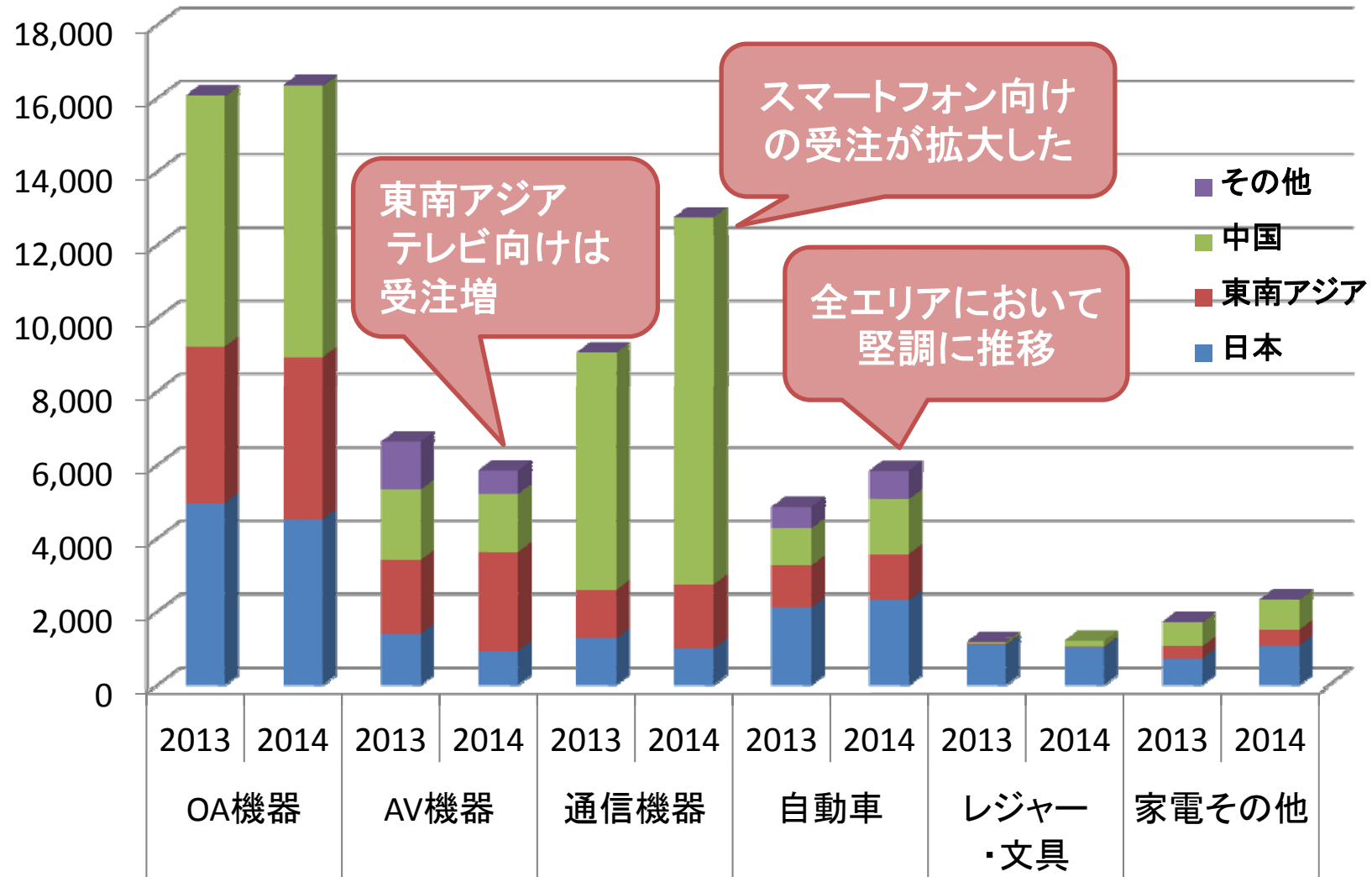
所在地別セグメント情報(その他)

(単位:百万円)	2013年	2014年	増減額	増減率
外部顧客売上高	1,968	1,508	△460	△23.4%
セグメント間の 内部売上高	9	3	△6	△66.6%
計	1,977	1,511	△466	△23.6%
営業利益	211	97	△114	△54.0%
(営業利益率)	(10.7%)	(6.4%)		

車載品向けの受注は堅調だが、テレビ向けは減少しました

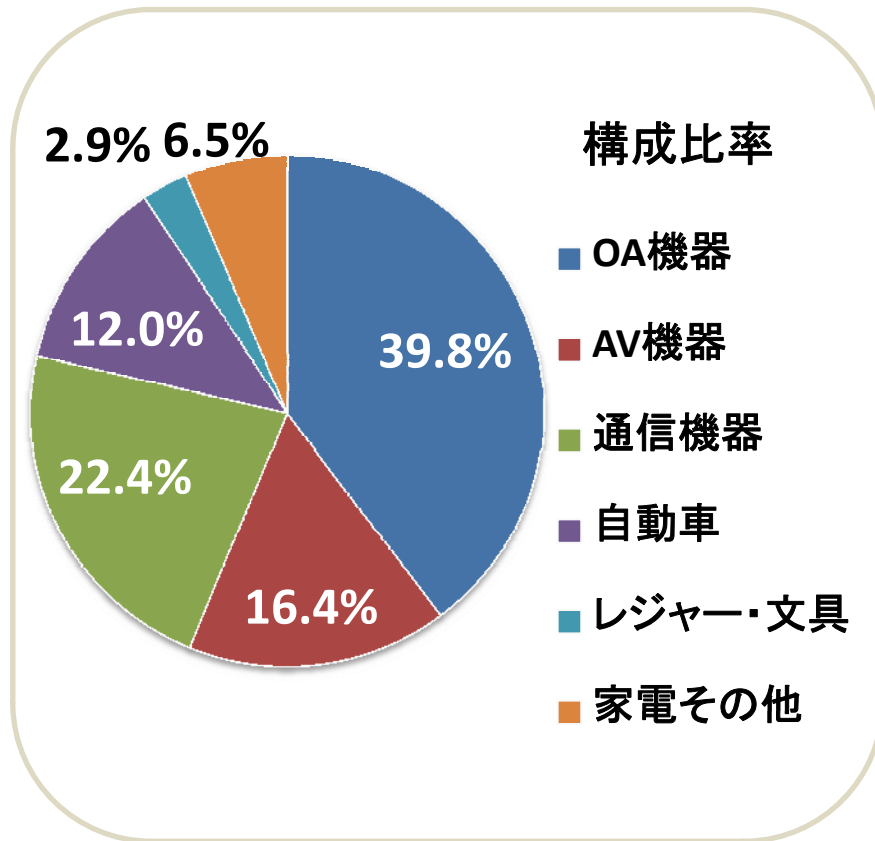
業種別売上高の前年同期比較(連結)

(単位:百万円)

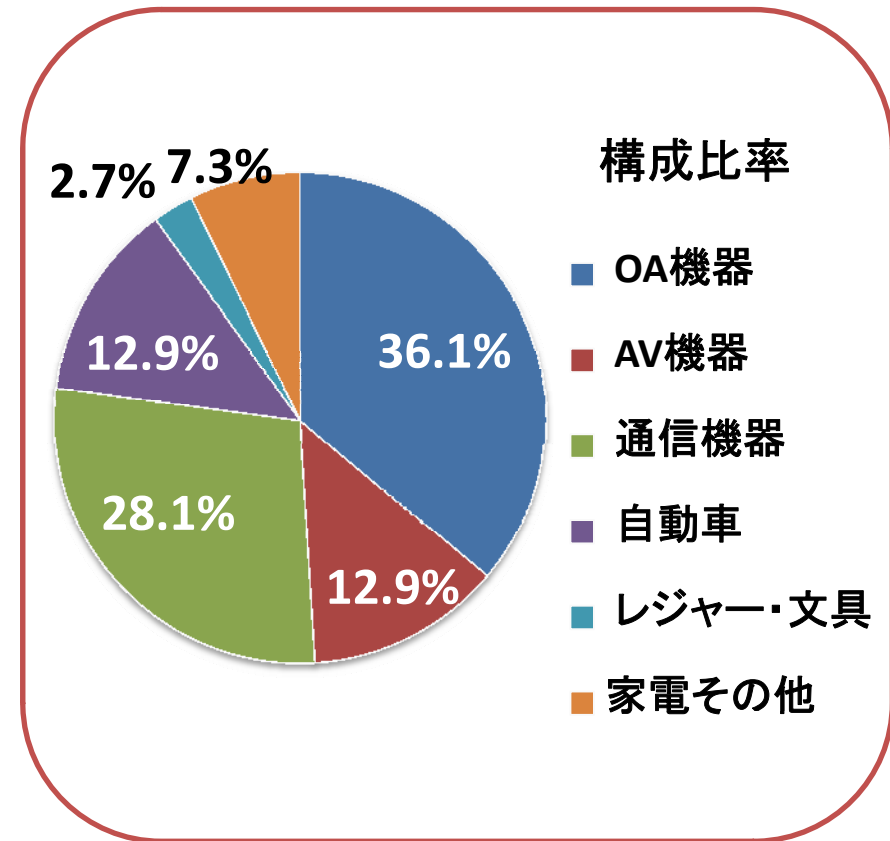


主要業種の構成比(連結)

2013年



2014年



設備投資と減価償却費

(単位:百万円)	2013年	2014年	2015年 予測
【設備投資】			
日本	60	143	200
海外	930	560	1,480
合計	990	704	1,680
【減価償却費】	1,247	1,218	1,150

2014年の設備投資内訳(主なもの)
(単位:百万円)

・機械設備 : 552

2015年の設備投資内訳(主なもの)予定
(単位:百万円)

・土地建物 : 500
・機械設備 : 700

2015年8月期 連結業績見通し

	14年8月期	15年8月期	増減額	増減率	備考
単位: 百万円	実績 (構成比)	予想 (構成比)			
売上高	45,413	47,500	2,087	4.6%	スマートフォンの特需剥落分を自動車デバイス関連への拡販で補完します
営業利益	3,574 7.9%	3,600 7.6%	26	0.7%	新事業領域への展開を図る中で、売上総利益率の維持に努めると共に、世界各地で続く人件費高騰による費用増をコントロールします
経常利益	3,813 8.4%	3,800 8.0%	△13	△0.3%	若干の為替差益を見込みます
当期純利益	2,513 5.5%	2,600 5.5%	87	3.5%	
為替レート /US\$	101.36 円	105 円			

本資料の取扱上のご注意

本資料で記述されている将来の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。

その見通しは世界経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等により変動することがあり得ます。

実際の業績は記述されている将来の見通しとは大きく異なる結果となる可能性もありますことをご承知おきください。